

II. 研修プログラム

本プログラムにおいては大阪市立大学医学部附属病院を基幹施設とします。連携施設については以下のように分類します

連携施設 1 群：複数の常勤病理専門指導医と豊富な症例を有しており、専攻医が所属し十分な教育を行える施設（大阪市立総合医療センター）

連携施設 2 群：常勤病理指導医がおり、診断の指導が行える施設（八尾市立病院、JR 大阪鉄道病院、南大阪病院、石切生喜病院）

連携施設 3 群：病理専門医は常勤しているが病理指導医が常勤していない施設（東住吉森本病院）

パターン 1 (基本パターン、基幹施設を中心として 1 年間のローテートを行うプログラム)

1 年目；大阪市立大学医学部附属病院。剖検(CPC 含む)と基本的な病理診断と細胞診、関連法律や医療安全を主な目的とする。大学院進学可能(以後随時)

2 年目； 1 群もしくは 2 群専門研修連携施設。剖検(CPC 含む)とやや専門的な病理診断および基本的な細胞診を主な目的とする。この年次までに剖検講習会受講のこと。可能であれば死体解剖資格も取得する。

3 年目；大阪市立大学医学部附属病院、必要に応じその他の研修施設。剖検(CPC 含む)と専門的な病理診断および専門的な細胞診を主な目的とする。この年次までに細胞診講習会、分子病理講習会、医療倫理講習会、医療安全講習会、医療関連感染症講習会など、専門医試験受験資格として必要な講習会を受講のこと。

パターン 2 (1,2 群連携施設で専門研修を開始するパターン。2 年目は基幹施設で研修するプログラム)

本プログラムを選ぶ際に連携施設で研修することを目的していたなど目的意識の強い専攻医に対応するパターン。

1 年目； 1 もしくは 2 群専門研修連携施設。剖検(CPC 含む)と基本的な病理診断と細胞診、関連法律や医療安全を主な目的とする。剖検症例が足りない場合は大阪市立大学医学部附属病院において経験を積む。大学院進学可能(以後随時)

2 年目； 大阪市立大学医学部附属病院。剖検(CPC 含む)とやや専門的な病理診断および基本的な細胞診を主な目的とする。この年次までに剖検講習会受講のこと。可能であれば死体解剖資格も取得する。

3 年目； 1 群もしくは 2 群専門研修連携施設、必要に応じその他の研修施設。剖検(CPC

含む)と専門的な病理診断および専門的な細胞診を主な目的とする。この年次までに細胞診講習会、分子病理講習会、医療倫理講習会、医療安全講習会、医療関連感染症講習会など、専門医試験受験資格として必要な講習会を受講のこと。

パターン3 (3年間基幹施設で主に研修行い、2群、3群専門研修施設で週1日研修を行うプログラム)

1年目;大阪市立大学医学部附属病院。剖検(CPC 含む)と基本的な病理診断と細胞診、関連法律や医療安全を主な目的とする。大学院進学可能(以後随時)

2年目;大阪市立大学医学部附属病院。剖検(CPC 含む)とやや専門的な病理診断および基本的な細胞診を主な目的とする。この年次までに剖検講習会受講のこと。可能であれば死体解剖資格も取得する。

3年目;大阪市立大学医学部附属病院。剖検(CPC 含む)と専門的な病理診断および専門的な細胞診を主な目的とする。この年次までに細胞診講習会、分子病理講習会、医療倫理講習会、医療安全講習会、医療関連感染症講習会など、専門医試験受験資格として必要な講習会を受講のこと。1-3年目:2群専門研修連携施設では所属する指導医が指導を行い、3群専門研修施設の場合は大阪市立大学の指導医とともに出向する。各施設の指導医の専門とする症例を中心とした、専門的な病理診断や剖検を経験するとともに、地域でのCPCを含むカンファレンスに出席、発表するなど地域連携の経験を積む

パターン4(大学院生となり基幹施設を中心としたプログラム)

1年目;大学院生として大阪市立大学大学院医学研究科分子病理学または診断病理学教室。剖検(CPC 含む)と基本的な病理診断と細胞診、関連法律や医療安全を主な目的とする。これに加え、連携施設(1-3群)で週1日の研修を行う。大学院担当教室の許可があれば、1年目の1年間を1,2群専門研修施設で研修することも可能である。

2年目;大学院生として大阪市立大学大学院医学研究科分子病理学または診断病理学教室。剖検(CPC 含む)とやや専門的な病理診断および基本的な細胞診を主な目的とする。この年次までに剖検講習会受講のこと。可能であれば死体解剖資格も取得する。これに加え、連携施設(1-3群)で週1日の研修を行う。

3年目;大学院生として大阪市立大学大学院医学研究科分子病理学または診断病理学教室。剖検(CPC 含む)と専門的な病理診断および専門的な細胞診を主な目的とする。この年次までに細胞診講習会、分子病理講習会、医療倫理講習会、医療安全講習会、医療関連感染症講習会など、専門医試験受験資格として必要な講習会を受講のこと。これに加え、連携施設(1-3群)で週1日の研修を行う。

*備考：施設間ローテーションは、上記 1~3 のパターンでは 1 年間 1 施設となっていますが、事情により 1 年間で複数の連携施設間で研修することも可能です。